

## 「夢」

岐阜県農業大学校  
畜産学科 2年 木村 奈緒

私は非農家出身です。私は農業大学校に進学しました。進学しようとしたわけは「牛のことが好き」「もっと牛のことを知りたい」と思ったからです。

農業大学校で私は2年生に進級することができました。この1年で学んだ事はたくさんあります。中でも一番大切だと思ったことは、飼料管理です。エサを与えても食べてなければ無駄になってしまいます。それは乳量にも影響します。太りすぎで種が付かないのも問題です。このようなことは経営をしていこうと思うと大きな打撃になると思います。太りすぎないように食べさせる。私は自分の管理もできていないので、正直牛の飼料管理ができるかどうか不安です。とても難しいものと感じます。それでも、飼料管理はやらなければならない事だし、できるようにならないといけない事だと思っています。

私にも体調が悪い時、食べたくない時はあります。牛もそれは一緒かなと思います。それでも食べてほしいので、食べさせるために何か工夫をしなくてはなりません。暑いと食べてくれないので換気扇をかけたたり、扇風機を回したり。それでも食べてくれない時は、草を細断したりもします。そんな暑いときでも青物は大好き。暑いときに冷えたスイカが食べたくなる心理と一緒にしょうか。

エサを与えるのは人です。牛は「あれが食べたい」、「これが食べたい」と言う事は出来ません。食べたいものが分かたらどんなに楽なのだろうと思います。食べたいものなのだからそれは食べてもらえるはず。上手く食べさせられるようには、①牛をよく観察して食べない事、体調が悪い事に気付く事。②なぜ食べないのか考える事。③考えに基づき、何か行動を起こす事。

私は牛の調教も頑張りました。毎朝早くから起きて牛を引きました。初めは慣れずに大変な思いをしました。牛に踏まれたり、私が逆に引っ張られたり。言うことを聞いてくれず、歩いてくれなかったりしました。何もかもが初めての事です。何も分かりませんでした。周りの人に一つ一つ教えてもらいました。

私が調教をしようと思ったわけはかなり単純です。肉用牛の共進会に出場するために友達が肉用牛の調教をしていました。その姿を見て、「楽しそう」と感じたからです。実際にやってみると思っていた以上に大変でした。私は子牛を特に可愛がっていたので、調教も子牛でチャレンジしました。子牛と言えども侮るなかれ。ロープで縛るのも一苦労です。「なんだか変なものがついた!」と暴れます。と言いますか、逃げられます。「私」に慣れてもらうところから始めました。とにかくよく牛を見に行くようにしました。そして、話しかけてみたり、触ってみたり。牛をよく見に行くようになって、牛の体調のことも自然と気にかけることができるようになりました。牛の「普通」を知ることができたので、異常にも気付けるようになったのです。

---

それだけでも私は「やったかいがあったなあ。」と感じます。

そうこうしているうちに牛も私に慣れてきてくれました。まるで「わが子」です。可愛くて仕方ないのです。「牛より私のほうが上なのだ」と言うことを覚えさせないといけなことを知りました。子育てをしたことがあるわけではないのですが、子育てと一緒にだと思えます。走りだしたら「いけない」と叱る。お利口に歩けたなら「よくできたね」ってほめてあげる。「完璧に」と言うわけにはいきませんが「叱るタイミング」、「ほめるタイミング」は掴めたと思います。そして、牛はかなりお利口になりました。今年か来年、共進会に出る予定です。

どんな時もだと思いますが「なぜ?」、「どうして?」と疑問を持つことは大切なことです。それを受けて「だからこうする!」と行動に移せたら、成長できると思います。私はまだまだ成長できると思います。と言いますか、成長しなければならぬんです。もっと大きな人間になりたいです。幸いにも私の周りには目標に出来る人がたくさんいます。

私は将来、酪農家に嫁ぐつもりです。生産から加工までやってみたいです。生産する者だからこそ、その味を多くの人に知ってもらいたいと思うのです。乳を生み出すまでの苦労を一番知っているのですし、乳をより良い形で、大切にできると思うのです。

そして今の私の夢は乳製品を中心としたお菓子屋さんを作ることです。私は食べる事が好きです。特に甘いもの。お菓子は大好きです。作るのも食べるのも好きなので、好きな事を仕事にできたらいいなと思うようになりました。好きな事を仕事にできる。これってとても幸せなことですよ。

作るものは素材の味をストレートに伝えられるものにしたいです。素材の味=牛乳の味。同じものを同じやり方で作っても、素材が良いほうが品質は絶対いいと思います。そのために乳質のよい牛乳を搾ります。言うのは簡単ですが、それを実際にやろうと思うと難しいことだと言うのは分かっています。私は経験がまだ農大で過ごした一年分しかないので、これからもっともっと経験をつんでプロになりたいです!

一番初めに取り組みたいと思っていることは、「チーズ」です。チーズでも様々なものがあります。牛だけでなく、山羊も数頭飼育して山羊乳でも作ってみたいと思います。私はハイジに憧れて酪農に興味をもち、酪農の道に進む事を決めました。その憧れの「ハイジのチーズ」を是非作ってみたいと思います。パンにのせてトロンとするおじいさんのチーズ。そんな普段の生活にすんなり溶け込めるようなチーズを目標にしています。

そしてジェラート作りもしてみたいと思っています。私はアイスクリームが大好きです。「自分で作るのならいつでも食べることができるし、たくさん食べられるのでは?」という安直な考えからですが、作ってみたいです。どこかに出かける度にアイスを食べ、食べたアイスを記録に残しています。これは今年になってから始めたことです。まだまだ記録というには少ないかもしれませんが、しかし、見返してみると面白いものです。

---

---

私はプロジェクトでアイスクリームを作るのに適した乳を作ろうとしています。内容は「粗飼料の量、内容によって、乳質は変わるのか?」というものです。なかなか予想をたてたようにはいきません。裏切られた感でいっぱいです。少しガッカリですが、気を落とさずに「なぜこのような結果になったのか?」ということを考えられるようになりたいです。「なぜ?」から考えたことを次に活かしていきたいと思います。まだまだアイスクリーム作りに適した乳に辿りつくまでの道は長そうです。時間はまだまだたくさんあるのでゆっくり焦らずにいこうかと思っています。ただ、ゆっくりでもいいので前には進みたいです。

ジェラートの味はミルク味の他にも数種類作りたいと思います。できれば地元の農家さんと連携してやりたいです。「地域の色をだせるような特色のある商品を作れたらいいな」と思います。その土地に根付いた地元の人が集まって来てくれる店。ほんわりしたあったかい店。そんな店を開けることを目指して頑張っていきたいと思います。

---